

1. 組織名

福島県

2. 提出意見①

該当する交渉分野

物品市場アクセス

意見

年内妥結に向けて交渉が大詰めを迎えているなかで、その内容について、十分な情報の提供はなされておらず、地方には不安が広がっている。

こうした中、11月30日、県内の農林水産業団体、消費者団体、医療関係団体及び建設産業団体による「TPP交渉から『食と暮らし・いのち』を守る福島県民集会」が、1,700名の出席のもと開催された。

集会では、交渉の行方に強い懸念が表明され、「政府は『国会決議を順守するとの不退転の覚悟をもって交渉に臨むべき』とする決議を採択した。

こうした県民の声を受け、政府は「農林水産分野の重要五品目などの聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合は、脱退も辞さないものとする」という衆参農林水産委員会決議を遵守すべきであることを、改めて申し入れる。